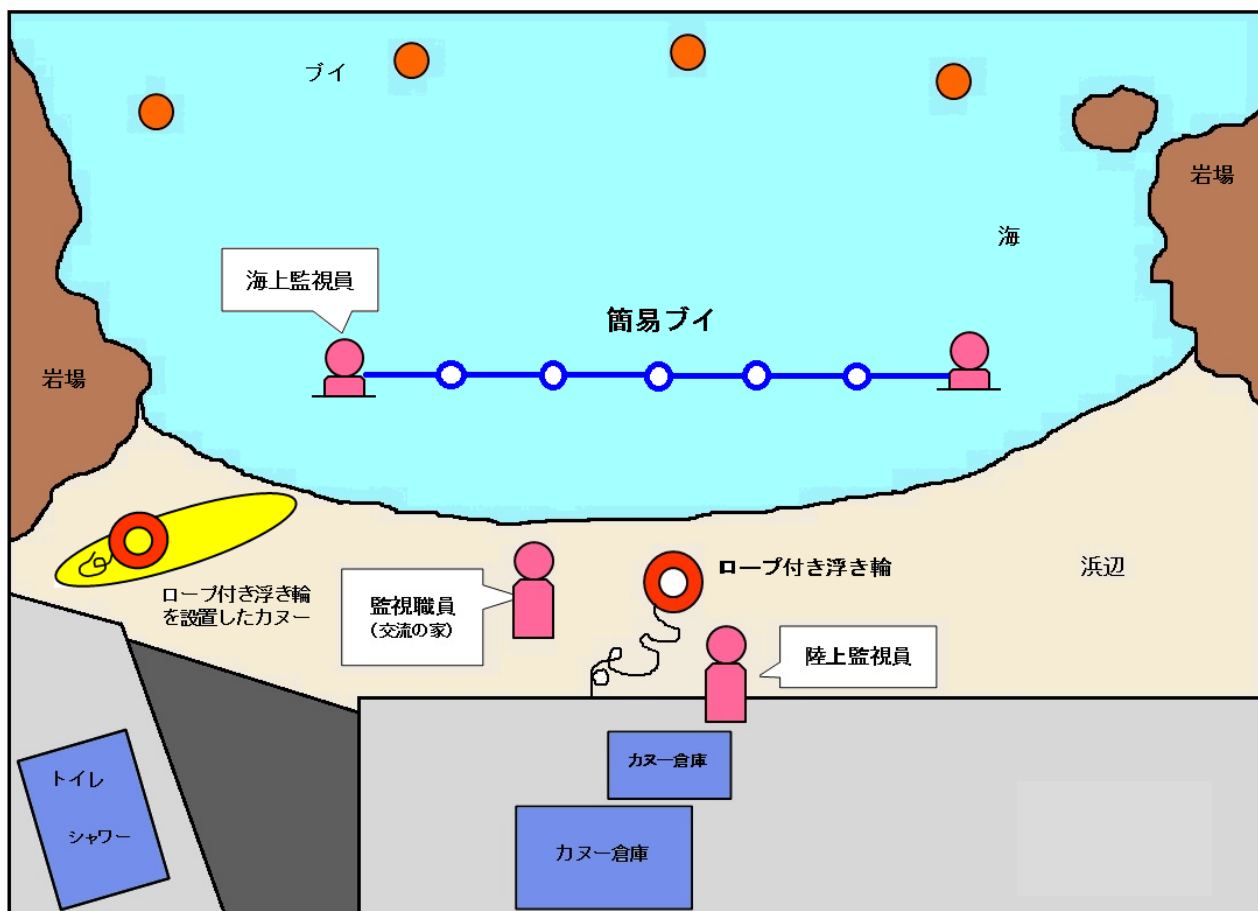


## 「水泳」研修



### 引率者の監視体制

- 統括責任者（全体の統括・指導）… 1名
- 陸上監視者（陸上からの監視・安全管理）… 1名
- 海上監視者（カヌーからの監視・安全管理）… 2名
- 指導担当者（用具の準備・片付けの指示, 指導及び安全管理）… 1名
- 救護担当者（健康観察・応急処置）… 1名



「水泳」研修



国立江田島青少年交流の家

## 「水泳」研修

### ◆ 概要

瀬戸内海の広島湾に開けた自然豊かな水泳場で、水泳研修ができる。

### ◆ ねらい

- 海に親しみ、海に対する興味・関心を高めるとともに、安全に留意して活動する態度を養う。
- 救命胴衣の正しい着用の仕方やそのよさを身につけさせる。

### ◆ 指導者、人数など

対象	小学4年生以上 (保護者や引率者と組む場合は3年生以下も可能)
指導	各団体・交流の家職員
人数	10人～100人
実施時間	2時間30分
実施場所	水泳場
実施時期	7月1日～8月31日

### ◆ 準備物

個人	交流の家(事務室)
水着	ハンドマイク
濡れてもよい靴(脱げにくいもの)	救急箱
ビーチウェア(Tシャツ等)	ホイッスル
タオル	交流の家(カヌー倉庫)
帽子	救助用カヌー
飲み物	救命胴衣
浮き輪/ゴーグル/着替え(希望者)	ロープ付浮き輪
	AED





「水泳」研修

◆ 展 開

	団体指導者・研修生の動き	職員の動き
集合・出発	①つどいの広場（ピロティ）に班毎に整列する。 ②健康観察を行う。 ③目的を説明する。 ④班毎に2列縦隊で水泳場に移動する。（水泳場まで約1 km） ※参加者の更衣場所は、宿泊棟を原則とする。使用できない場合は指定した場所で更衣する。	なし
水泳場到着後	①利用団体は、職員の指示により、カヌー倉庫から必要な道具を出す。 ②海上監視員・陸上監視員は、安全対策の準備をする。 ③②関係者以外の者は、浜辺の清掃をする。（5分くらい） ④バディ（2～3人）を組む。 ⑤健康観察を行う。 ⑥人数、名前を確認する。	人数等を確認する。
職員による指導	①注意事項を確認する。 ・水泳は20分以上続けない。休憩は必ず10分以上とる。 ・水泳は特に危険を伴い、事故は死につながる。 ・バディ（3人以上も可）を組み、ともに行動する。 ・担当者の指示に従い、悪ふざけや勝手な行動は絶対しない。 ・体調が悪くなったら、早めに活動をやめ、救護担当者に連絡をする。 ・体調不良者は水泳をしない。 ・事故を目撃したり、ケイレン等が起きたりしたら直ちに大声で叫ぶ。 ・原則、簡易ブイより岸側で活動する。 ・休憩時間は海に入らない。 ・見学者は水泳を行っている者をよく監視し、勝手な行動をしない。 ②準備運動をする。 ③救命胴衣を着用する。 ④救命胴衣着用時の浮き方・救助法について知る。	
団体による指導	水泳	安全確認
実施後	①バディで、人数と名前を確認する。 ②健康観察を行う。 ③職員に人数等を報告する。 ④整理運動を行う。 ⑤カヌー、救命胴衣、ロープ付浮き輪を洗浄し、カヌー倉庫に片付ける。 ⑥トイレの掃除をする。 ⑦シャワーを浴びる。 ⑧持参したゴミ等は必ず持ち帰る。	なし
交流の家へ 出発・到着	①列縦隊で青少年交流の家へ向かう。 ②到着後、人数確認を行う。 ③更衣等の諸連絡をする。 ※更衣の際は、足をよくふいて宿泊棟に入るよう指導する。 ④事務室に水泳研修が終わったことの報告をする。	

◆ 連 絡 先

	一般電話番号	緊急通報用電話番号
江田島消防署（救急係）	TEL (0823) 40 - 0358	119
江田島警察署	TEL (0823) 42 - 0110	110
第六管区海上保安本部	TEL (082) 251 - 5111	118
江田島青少年交流の家	TEL (0823) 42 - 0660 (0823) 42 - 0661	